

# 代表質問



2月通常会議では、各会派の代表者5人が質問しました。

**代表質問とは**  
 新年度当初予算を審議する会議（2月通常会議）および市長が就任して初めての会議で、会派の代表者が市政や市の教育方針について質問を行うものです。また、会派に所属する議員が関連する事項について質問をします。



## 北上まほろばクラブ



代表質問者  
 北上まほろばクラブ  
 三宅 靖 議員



## 大学設置についての議論を

**Q** 大学設置に係る財政費用などを精査すべきでは。

**A** 現在の運営費試算には専門的な機器類の更新費は見込んでいないが、計画が進んでいった段階で精査していきたい。建設費については、中長

**Q** 階の予算計上は6月ではなく、もっと議論を尽くしてからにすべきでは。

**A** 今までも46回、地域や団体へ説明してきた。基本構想がまとまった後も説明は続けていくが、国の理系人材養成の補助金

**Q** モバイルクリニックのコスト低減策は

**A** 今のところ1件当たり約44万円のコストが掛かっている。低減策は、委託業務の一部をこれまでの事業者から市内事業者へ切り替

**Q** デジタル新聞閲覧の狙いは。またNIE導入による教員の負担増の懸念は。

**A** 4年生から6年生までの端末に新聞を閲覧できるアプリを導入するもので、子どもたちの読解力などの向上を狙う。導入

**その他の質問**  
 ・米価対策と農業施策について  
 ・教育行政の推進体制について  
 ・小学校の通学支援について

**関連質問者**  
 平野 明紀 議員

**Q** 大学設置基本構想がまとまってから市民への説明は。次の段階

**A** 期的な財政見通しを精度を上げて示す必要がある。ただし、20年後まで見渡す事は難しいので、予測できる範囲で示したい。



申請が秋頃となる事も考慮して、次への予算計上の時期は考えたい。

**Q** NIE（教育に新聞を）の推進は

**A** 1人1台端末によるえることで、コストの低減および現場対応の効率化を図ることができないか検討している。

**その他の質問**  
 ・「子育て寄り添いプロジェクト」について  
 ・「健康と安心の地域づくり推進」について  
 ・「モバイルクリニック事業」について など

**その他の所属議員**  
 千田 優子 議員  
 白鳥 顕志 議員  
 八重樫 民徳 議員  
 佐々木 護 議員  
 梅木 忍 議員

## 新清会



代表質問者  
 新清会  
 藤原 常雄 議員



## 大学設置に関して策定委員会の意見は

**Q** 大学は地域に夢と希望を与えるとは。基本構想策定委員会で、大学は地域に夢と希望を与えるという意見を頂き「ひとつづき」と「まちづくり」が両輪となり「新しい価値づくり」という、市が考

**A** える大学設置の方向性と一致するもの。大学の必要性とは。大学院がなければ優秀な教員が集まらない、交換留学や海外から優秀な学生を呼ぶ際、大学院だと来てくれる。優れたやる気のある

**Q** 高校生の受け皿となる、今までの大学と違う大学を目指すべきでは。

**A** 進学校出身の学生だけでなく、実業高校出身の学生にも門戸を開き、意欲ある学生、探求心旺盛な学生に多く集まって欲しい。また特徴ある教育による「尖った大学」を目指す。

**Q** 市長の市政運営方針より

**A** クマ・シカ・イノシシなどによる農作物の被害防止のため、地域とどのように連携して対策を強化していくのか。地域の方々との情報交換や現地確認とあわせて専門家からも定期的な助言を頂き、農作物被害対策やクマとの不意の遭遇による被害を防ぐための刈り払いや放任果樹の伐採など、生息環境の管理を進めて行く。

**その他の質問**  
 ・令和7年度から新たに設置する集落支援員とは。  
 ・和賀・川東地域から地域で取り組みたい事柄を募り、事柄に取り組み集落支援員を公募・選考の上、委嘱し、支援室と連携して課題解決に取り組む。



**その他の所属議員**  
 齊藤 金浩 議員  
 居駒 勉 議員  
 藤田 民生 議員  
 高橋 晃大 議員  
 佐藤 恵子 議員



代表質問者 安部 壽美子 議員



物価高騰から 住民の暮らし支える施策を

米ひとめぼれ10kg 6500円、キャベツ1玉400円など、食料品の高騰が家計を圧迫している。学校給食費無償化を実施すべきでは。

物価高騰による食料高騰分の支援を行っているが、完全無償化は考えていない。国が令和8年度小学校給食の無償化実現を発表したことから動向を注視する。

米ひとめぼれ10kg 6500円、キャベツ1玉400円など、食料品の高騰が家計を圧迫している。学校給食費無償化を実施すべきでは。

農産物の販売促進のため、農業者がネット販売する際の輸送費補助を実施し、農業者の所得増を実現する考えはないか。

農産物は基本的に生産者が販売するものであり、ネット販売に対する行政の関わり方は、他市の取り組み事例を情報収集し、市産業ビジョンの中間見直しに合わせ調査・研究していく。

核兵器廃絶に向けた取り組みについて  
不登校児童・生徒への支援について  
特別支援学校高等部分教室の設置について

国保税就学前の子ども均等割1万3300円の廃止は193万円の財源で可能。子育て支

制・流入促進や賑わいの創出、人材育成・確保といったまちの課題解決の手段の一つと説明しており、「新しい価値づくり」の考えに変わっていない。大学のあるまちの様々な効果も当初から言及してい

学校におけるイジメ問題の再発防止策は

農業者の強固な経済基盤の確立を

2025年問題について  
ジェンダー格差の解消について  
北上市立大学設置について



代表質問者 高橋 孝二 議員



大学設置の目的が 破綻しているのでは

市は大学設置の目的を①半導体関連の人材確保②若者の流出を防ぐ③まちのにぎわいの創出と説明した。県の半導体関連人材育成施設が4月に開設され、今後若者の流出は増加をたどり、大学卒業後に

地元に残る学生も数%と予想されている。百貨店誘致による再開発も倒産や撤退でこの地域のにぎわいを年々減少させている。この流れをどう分析されるのか。当初から一貫して大学を若者の流出抑

令和5年度に発覚した市内の学校におけるイジメの「重大事態の件」について、これまでの経過と現状は。また第三者委員会が設置され

いじめ重大事態については対策専門委員会、いわゆる第三者機関による調査が実施途中であり、終了時期については示されていない。今後の対応策については早期発見に努め、被害

本通り二丁目地域の再開発事業計画について  
教育委員会とそれぞれの学校現場における教職員へのDX、AIについての対応方針

た。大学を人口減少時代の生き残り戦略として、役割を果たす意義を改めて確認している。

外国人労働者急増への対応について

外国人労働者急増への対応について

日本人がお互い快適に暮らすためにすべく、市長が本部長となり、部署連携を強化し進めていく。地域づくり組織との連携強化を国際交流協会の協力の下、交流イベント開催し、地域、企業、市民団体などと協働を進め、共に学びあう機会を増やしていく。

北上市立大学法人設立の運営メリットは。市のメリットとして教職員の非公務員化、校舎の法人所有によって人事や校舎の管理が不要となる。大学側としても、学長のリーダーシップにより迅速、柔軟、戦略性ある独自の運営が可能となる。



代表質問者 阿部 眞希男 議員



市立大学実現の課題について

基本計画策定のスケジュール、学長以下スタッフの選任は。現在、基本構想策定に注力し、設置の最終判断、庁内意志決定の後、具体的検討に着手する。学長、教員、事務スタッフの人選は市立大学成功の鍵であり、学生の安定的確保に向け、これまでの人脈、関係機関との連携で、最大限の努力が必要となる。

和12年4月、準備期間は5年間、タイトなスケジュールだが実現可能である。「市立大学法人」設立の運営メリットは。市のメリットとして教職員の非公務員化、校舎の法人所有によって人事や校舎の管理が不要となる。大学側としても、学長のリーダーシップにより迅速、柔軟、戦略性ある独自の運営が可能となる。

外国人労働者急増への対応について

日本人がお互い快適に暮らすためにすべく、市長が本部長となり、部署連携を強化し進めていく。地域づくり組織との連携強化を国際交流協会の協力の下、交流イベント開催し、地域、企業、市民団体などと協働を進め、共に学びあう機会を増やしていく。

北上市立大学法人設立の運営メリットは。市のメリットとして教職員の非公務員化、校舎の法人所有によって人事や校舎の管理が不要となる。大学側としても、学長のリーダーシップにより迅速、柔軟、戦略性ある独自の運営が可能となる。